No. 1 6 0 8 11年9月27日 東海労働組合

停止を 原発永久

かめず、 も、いまだに事故原因は 故から半年が経過して もとより事故の全容もつ 撃を与えた。事 我々に大きな衝 から崩れ去り、 況である。 いてはめどもつかない状 福島第1 事態の収束につ 原子力発電所

る汚染も、

ちへの健康被害の影響が

原市議会 決議

してしまった。 た文化や歴史、 ュニティは、すべて崩壊 住民コミ においても、 ある茶葉から放射性物質 基幹産業で いる東海地震の震源域真

により将来を担う子供た また、放射性物質によ 内部被ばく等 ころである。 め甚大な被害を受けたと が検出され風評被害を含

許されない原子力発電で 本来、 一度の間違いも

き年月をかけて築いてき い、家族とも離散し、長まならず、職や財産を失 及ぼしている。 全国各地で深刻な影響を 牧之原市

やす・閉じ込める) 安全である(止める・冷

ح ところの「原子力発電は

発電所事故は、

国でいう

れ

東京電力福島第1原子力

東日本大震災における

の周辺地域では、

多くの

ころであり、農畜産物の

非常に心配されていると

あるにもかかわらず、

我

いう神話が根底

住民が避難を余儀なくさ 自宅に戻ることもま 出荷や企業活動などにつ いても、地元はもとより 々は、 した事実を鑑みれば、 のような重大事故が発生

ことを考えなければなら 生命・財産を守っていく まず第一に市民の

近い将来間違いな ない。 く起こるとされて

全・安心が将来にわたっ 子力発電所は、 上に立地している浜岡原 久停止にすべきである。 て担保されない限り、 確実な安

静岡·牧之原 原発10+周 7 初

初めて。

久停止を決議するのは

求める意見書は、伊豆 発の永久停止と廃炉を

市、東伊豆町、松崎町

中部電と安全協定を結

などによると、浜岡原

静岡県市議会議長会

ふ十き圏内の四市で永

ある御前崎市を含め、

同市や、浜岡原発が一る。

られない」と述べた。 | ており、新たな壁とな

ていく。事故発生のリ け止め同じ思いで進め 閉会後、決議について 多数で可決した。 だ」とする決議を賛成 「議会の決定を重く受 西原茂樹市長は議会 永久停止すべき | 永久停止すべきだ」と | に関して 「地元自治体 の考えを表明。再稼働 水型で、 沸騰水型、5号機は改良型沸騰 に順次運転を始めたが、1、2 1976~2005年 の原発。1-4号機は 前崎市にある中部電力 浜岡原発 の賛同がなければ認め

中部電力浜岡原発の

残る3基の総出力は約360万 号機は99年に運転を終了した。 5月中旬に全面停止した。 地元運転中だったが、政府の要請で は定期検査中で、4、 も静岡地裁に起こされた。 係争中の他、廃炉を求めた訴訟 止めを求めた訴訟が東京高裁で 住民らが1-4号機の運転差し 5号機は

> ばならない」との内 守ることを考えなけれ

って担保されない限

の安全と安心のために

全、安心が将来にわた一スクがある以上、市民

しており、確実な安 定)震源域真上に立地 いて「東海地震の(想 本会議で、同原発につ 日午前の九月定例議会 牧之原市議会は二十六 十書圏内にある静岡県

> 活。3月11日の地震時、 、3号機

らの運転再開を目指し は、地元同意を得てか に市民の生命、財産を を鑑みれば、まず第一 発電にもかかわらず、 いも許されない原子力 大事故が発生した事実 (福島第一原発で)重 決議は「一度の間違

2011年9月26日東京新聞

を受け入れた中部電

る。

政府の全面停止要請

の各議会が可決してい

2011年9月26日静岡新聞

が地元の声を導